



2013年6月20日
乳房文化研究会
株式会社ワコール

オッパイ アート ラボ パイアール ジジョウテン
「**OPPAI ART LAB. πr事情展 2013**」開催のお知らせ

2013年7月17日(水)より、ニューボウブンカケンキョウカイ 乳房文化研究会 主催・株式会社ワコール協賛による「OPPAI ART LAB. πr事情展 2013」を下記のとおり開催いたします。

この「OPPAI ART LAB. πr事情展 2013」は、「表現としての乳房」をコンセプトとし、乳房をアートとして表現した公募作品を展示するアート展です。会場は古都京都を代表する禅寺「建仁寺」の塔頭「禅居庵」をお借りして、100点を超える作品を座布団の上に展示いたします。

また、特別イベントのパフォーマンスや連歌会の同時開催など、お寺とアート、古風と現代を融合させたユニークで楽しい展示会です。

記

- ◇ 会期 : 2013年7月17日(水)～7月21日(日)
10:00～19:00(最終入場 18:30)
最終日 21日は 15:30 終了(最終入場 15:00)
※ 入場無料

- ◇ 会場 : 臨済宗建仁寺塔頭 禅居庵
(京都市東山区大和大路通四条下る)
※誌面等の掲載時は、建仁寺塔頭禅居庵まで記載をお願いします。



[最寄駅] 京阪「祇園四条」駅から徒歩7分 阪急「河原町」駅から徒歩10分
[市バス] 「四条京阪前」「東山安井」「清水道」から各徒歩7分

◇ 概要

① 開催主旨

乳房文化研究会は乳房を中心に、女性の「からだ」と「こころ」をとりまく医学的・生物学的研究、社会や文化の問題を広く学際的に科学することを目的に活動をしています。その前身である「からだ文化研究会」は 1991 年に設立されました。そして 10 周年、15 周年という節目には「OPPAI ART LAB.」と題して乳房をテーマとしたアート展を開催してきました。設立から約 20 年が経ち、2001 年の第 1 回 ART 展から 12 年の歳月が流れ、急速な社会の変貌や科学技術の進歩、生活スタイルの変化などが起こりました。そのようなことを背景に、新たなメッセージの発信となる作品を第 1 回 ART 展に参加いただいた作家の方々を中心に公募したところ、約 100 点を超える作品の応募をいただきました。その中の素晴らしい作品の数々を展示させていただきます。

② 展示作品について

以下の内容で公募し、応募いただいた作品を展示しています。

●公募テーマ:<この胸のときめきを>ふたたび……

●募集作品:「乳房」を題材とした 45cm×45cm以内の平面作品または
45cm×45cm×高さ 25cm以内の立体作品

(火気や水を使用する作品、生もの、腐敗する恐れのある作品は NG)

●公募対象:2001 年の第 1 回 ART 展参加の作家、乳房文化研究会員
京阪神地区の芸術系大学、短大、高校、ワコール社員・OB

③ 特別イベントについて

展示作品の中で、以下の 2 点はパフォーマンス(作家の実演)があります。

●パフォーマンス①「Bosom(ブーザム)2001→2013」 torso*栗棟 一恵子(トルソー クムネ カエコ)
長い長い時間の営みを紡ぐ場所「禅居庵」。そこに有機体としてのひとつの「身体」を置きます。

・7月 17 日(水)、20 日(土) 13:00~18:00、7月 21 日(日)13:00~15:00

1 時間毎に各約 20 分間実演

●パフォーマンス②「ユカイナおっぱい」池上 正秋(イカガミ マサアキ)

「ユカイナおっぱい」は木製オカリナ(笛)です。その音色を作家自身が奏でます。

・7月 19 日(金)、20 日(土)、21 日(日) 13:00~、14:00~、15:00~各約 15 分間

④ 同時開催イベントについて

2013 年 1 月の定例研究会「文学作品にみる乳房」で講師をしていただいた、第 78 回芥川賞受賞作家 高城修三(タキ シュウゾウ)先生が主催されている「連歌会」を以下の日時に禅居庵で同時開催します。「乳房」を発句に優雅な連鎖的発想の世界をお楽しみいただけます。

日時:7月 20 日(土)13:00~16:00

※連歌会への参加は有料、連歌会会場への入場・鑑賞は無料です。

連歌会に関するお問い合わせと参加の申込み……TEL:075-723-8218

(世話人:城 貴代美)

※「高城修三 連歌会」については以下の HP を参考ください。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~taki99/>

ご参考

●「乳房文化研究会」について

おっぱい、お乳、バスト、胸など、人によって、あるいは場合によってさまざまな呼び方で親しまれている乳房。

女性のからだの中で、明確なアイデンティティを語るどころといえば、誰もがその筆頭に乳房を挙げるでしょう。

乳房は、もちろん女性美をはかる、ものさしだけではありません。

例えば赤ちゃんの大切な栄養源になる乳汁、思春期以降の乳房のふくらみへの胸のときめき・・・。

女性が女性として生きるとき、乳房は人生のあらゆる場面に色濃くかかわり、それは時として心理学や精神科領域につながることもあります。

このようにすべての領域に関わりを持っている、といっても過言ではない

「乳房」を中心に、女性の心とからだをとりまく文化や社会の問題を、医学的・生物学的アプローチにとどまらず、社会科学領域、人文科学領域まで拡げ、広く学術的に科学することを目的に、「乳房文化研究会」は設立されました。

その研究テーマは、思春期、妊娠、出産期、閉経期と大きく変わる女性のターニングポイントにおける乳房をはじめとして、女性のこころとからだをとりまく興味あるデータを多角的に取り上げています。

医学・生物学・文化人類学・心理学・被服造形学・芸術など幅広い分野で活躍する専門家たちが集まり、それぞれが乳房についての情報交換や啓発を図り、より広く、より深く各方面からの話題提供を受けながら活発な議論を展開しています。

◇この件に関するお問い合わせ先

・乳房文化研究会・OPPAI ART LAB 事務局（岸本・平田）

〒601-8530 京都市南区吉院中島町 29

株式会社ワコール 人間科学研究所内

TEL : 075(682)1178 FAX : 075(682)1037

<http://www.wacoal.jp/c/nyubou-bunka/>

・株式会社ワコール 総合企画室 広報・宣伝部

(東京) TEL : 03-3239-1117 FAX : 03-3239-1118

(京都) TEL : 075-682-1006 FAX : 075-682-1103